

報告事項3. 2017年度事業計画

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

(1) 研究会・学術講演会の開催事業

1. 第82回日本循環器学会学術集会(JCS2018)

①会期：2018年3月23日(金)～25日(日)

会長：澤 芳樹(大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科学)

会場：大阪国際会議場他

メインテーマ：Futurability～明日の循環器医を拓く～

②会長からのコメント

コンセプトは、次世代の人材育成や次世代の医療、循環器医療、融合領域を議論する。美甘レクチャーはTAVIの創始者であるAlain Cribier先生(University of Rouen's)、真下記念講演は山中伸弥先生(京都大学iPS細胞研究所)に依頼する。今後の日本循環器学会の将来、目標、戦略を見据えたシンポジウム、若手中心の企画、外科医を日本循環器学会にどう取り込むかなど、新しい企画も熟考したい。

③プログラム

- ・一般演題
(口述, ポスター, Featured Research Session)
- ・美甘レクチャー
- ・真下記念講演
- ・特別講演
- ・会長講演
- ・代表理事講演
- ・プレナリーセッション
- ・シンポジウム
- ・会長特別企画
- ・ジョイントシンポジウム
(AHA, ACC, ESC, CSC, KSC)
- ・ラウンドテーブルディスカッション
- ・トピック
- ・コントロバシー
- ・ミート・ザ・エキスパート
- ・モーニングレクチャー
- ・Late Breaking Clinical Trials
- ・Late Breaking Cohort Studies
- ・循環器教育セッション
- ・日本心臓財団佐藤賞記念講演
- ・審査講演会
 - YIA Clinical research部門審査講演
 - YIA Basic research部門審査講演
 - 国際留学生YIA審査講演
 - コメディカル賞審査講演会
- ・ガイドライン解説

- ・各委員会セッション・セミナー
 - 心臓移植セミナー
 - 保険医療セミナー
 - 海外留学生セミナー
 - 留学支援助成報告会
 - 禁煙推進セミナー
 - 日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
 - 男女共同参画委員会セッション
 - IT/Database委員会セッション
- ・アジアンセッション
- ・倫理に関する講演会
- ・医療安全に関する講演会
- ・Circulation Journal Award Session
- ・チーム医療セッション
(一般演題, 教育講演, シンポジウム)
- ・サテライトセミナー(ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナー)
- ・機器・書籍展示
- ④プレレジストレーション
学術集会参加者向けに、参加登録、教育セッション、ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行う。
- ⑤印刷物・製作物
第82回学術集会関連の印刷物・制作物として、プログラム集、電子抄録アプリ、教育セッションテキスト、企業展示ガイドブック、ピンバッジ、英文パンフレットを製作する。
- ⑥My Abstracts
演題抄録・チーム医療セッション抄録・共催セミナー抄録を検索し、必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB版とアプリ版で行う。
- ⑦トラベルグラント
海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給する。支給金額は、アジア近隣諸国は5万円、その他の国は10万円とする。
- ⑧発表データプレエントリー
学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「発表データプレエントリーシステム」を公開する。
- ⑨託児室
学術集会会期中に参加者に対して英語対応可能な託児室を設置する。
- ⑩日本循環器学会ブースの出展
第82回学術集会の期間中、展示会場にて学会活動紹介のためのブースを出展する。

⑪学会賞

以下の賞に関して、受賞者を決定する。

- 第43回日本心臓財団佐藤賞
- 第35回YIA Clinical research部門審査講演
- 第35回YIA Basic research部門審査講演
- 第26回CPIS賞
- 第16回国際留学生Young Investigators Award
- Circulation Journal Awards for Volume 81, 2017
- Circulation Journal Asian Award for Volume 81, 2017
- Best Reviewers Award for 2017
- 第13回心臓血管外科賞
- 第13回小児循環器賞
- 第12回循環器再生医科学賞
- 第11回女性研究者奨励賞
- 第8回コメディカル賞
- 第7回循環器臨床研究奨励賞
- 第5回循環器イメージング賞
- 日本心臓財団・日本循環器学会2017年「心臓」賞

2. 日本循環器学会地方会

- ①第117回北海道地方会
会期：2017年6月24日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：川原田修義(札幌医科大学心臓血管外科学講座)
- ②第118回北海道地方会
会期：2017年11月25日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：松居喜郎(北海道大学循環器・呼吸器外科学分野)
- ③第164回東北地方会
会期：2017年6月10日(土)
会場：マリオス(盛岡市)
会長：森野禎浩(岩手医科大学内科学講座循環器内科学分野)
- ④第165回東北地方会
会期：2017年12月2日(土)
会場：仙台国際センター(仙台市)
会長：竹石恭和(福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座)
- ⑤第244回関東甲信越地方会
会期：2017年6月10日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：上妻 謙(帝京大学内科・循環器内科)
- ⑥第245回関東甲信越地方会
会期：2017年9月9日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：池田隆徳(東邦大学循環器内科学)
- ⑦第246回関東甲信越地方会
会期：2017年12月2日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：平尾見三(東京医科歯科大学心臓調律制御学)
- ⑧第247回関東甲信越地方会
会期：2018年2月10日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：福田恵一(慶應義塾大学循環器内科)
- ⑨第149回東海地方会
会期：2017年7月1日(土)
会場：ウインクあいち(名古屋市)
会長：碓氷章彦(名古屋大学心臓外科学)
- ⑩第134回北陸地方会
会期：2017年6月25日(日)
会場：金沢大学医薬保健学域医学類, 十全講堂・教育棟(金沢市)
会長：名村正伸(心臓血管センター金沢循環器病院循環器内科)
- ⑪第150回東海・第135回北陸合同地方会
会期：2017年11月3日(金)・4日(土)
会場：ウインクあいち(名古屋市)
会長：天野哲也(愛知医科大学循環器内科)
- ⑫第123回近畿地方会
会期：2017年6月24日(土)
会場：大阪国際交流センター(大阪市)
会長：坂田泰史(大阪大学循環器内科)
- ⑬第124回近畿地方会
会期：2017年11月25日(土)
会場：ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター(大阪市)
会長：川嶋成乃亮(大阪府済生会中津病院)
- ⑭第111回中国地方会
会期：2017年12月2日(土)
会場：倉敷市芸文館(倉敷市)
会長：門田一繁(倉敷中央病院循環器内科)
- ⑮第111回四国地方会
会期：2017年12月9日(土)
会場：あわぎんホール(徳島市)
会長：藤永裕之(徳島県立中央病院循環器内科)
- ⑯第110回中国・四国合同地方会
会期：2017年6月30日(金)・7月1日(土)
会場：高知市文化プラザかるぼーと(高知市)
会長：渡橋和政(高知大学外科学(外科二)講座)
- ⑰第122回九州地方会
会期：2017年6月24日(土)

会場：アクロス福岡(福岡市)
会長：橋木晶子(九州大学保健学部門)
⑱第123回九州地方会
会期：2017年12月2日(土)
会場：久留米シティプラザ(久留米市)
会長：田中啓之(久留米大学外科学講座)

3. 地方会抄録検索システム

地方会症録オンライン検索システム「症例くん」に、過去の地方会データを登録する。

(2) 学会学術誌「Circulation Journal」の刊行事業

①Circulation Journalを紙媒体、オンラインジャーナル、iPadにより発刊する。

②質の向上のための事業

国際編集会議をAHA開催期間中に開催する。Associate Editor, International Associate Editor, International Advisory Boardのメンバーを招待し、議論を行う。プロモーション、Citation Noticeメール等によりImpact Factorの向上を目指す。

③「Circulation Reports」創刊事業

研究者の論文発表の場を増やすことを目的とした、Circulation JournalのSister Journalの位置づけにあたる刊行物として発刊する。2018年10月の発刊を目指して準備を行う。

④二次使用・広告料収入に伴う事業

(3) 学術研究助成事業

1. ガイドライン事業

①ガイドライン誌発刊

・2015-2016年度活動班(2017年度発表)

1) 血管炎症候群の診療ガイドライン(班長：磯部光章)

2) 成人先天性心疾患診療ガイドライン(班長：市田露子)

・2016-2017年度活動班(2017年度発表)

1) 遺伝性不整脈の診療に関するガイドライン(班長：青沼和隆)

2) 感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン(班長：中谷敏)

3) 急性・慢性心不全診療ガイドライン(班長：筒井裕之)

4) 肺高血圧症治療ガイドライン(班長：福田恵一)

5) 肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン(班長：伊藤正明)

6) 心疾患患者の妊娠・出産の適応、管理に関するガイドライン(班長：赤木禎治/池田智明)

・2017-2018年度年度活動ガイドライン

(2018年度発表)

1) 先天性並びに小児期心疾患ガイドライン(班長：安河内聡)

2) 冠動脈血行再建ガイドライン(班長：中村正人/夜久均)

3) 心筋症ガイドライン(班長：筒井裕之/北岡裕章)

4) 不整脈非薬物治療ガイドライン(班長：栗田隆志/野上昭彦)

5) 急性冠症候群ガイドライン(班長：木村一雄)

6) 慢性冠動脈疾患診断ガイドライン(班長：山岸正和/玉木長良)

②ダイジェスト版の英語化

日本語で公表されたガイドラインのダイジェスト版で、日本のガイドラインを海外に発信する際に意義の高いものを作成する。

1) 慢性肺動脈血栓塞栓症に対するballoon pulmonary angioplastyの適応と実施法に関するステートメント(班長：伊藤浩)

2) 学校心臓検診のガイドライン(班長：住友直方)

③図表の転載申請の許諾

営利目的の制作物への図表転載申請を受け付け、転載許諾料を申し付ける。(※但し医学書については無料とする。)

2. Translational Research 振興事業助成

2015年度に採択され、活動期間3年間の「ナチュラルキラーT細胞活性化による新たな重症心不全治療の実用化」(筒井裕之代表研究者)の2017年度分の助成を行い事業終了となる。

3. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に1件の留学支援助成を行う。

(4) 登録・解析事業

1. 臨床効果データベース

2016年度に予算外承認されたデータ変換プログラムを用いて、臨床効果データベース事業を進め、今後の施設における拡張について検討を行う。

2. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

①データの収集を行い調査項目の見直しも行う。

②DPCデータを用いた心疾患における医療の質評

JROAD-DPCの運用を行う。循環器研修施設・研修関連施設のDPC病院を中心としてDPCデータの収集を行う。参加施設の増加、調査項目の見直しも行う。

③公募事業

JROAD, JROAD-DPCを利用した研究公募を行い、対価を研究者より受領してデータの提供を行う。

3. BPA施設認定レジストリー登録

BPAの適応と実施に関するステートメントに沿って、認定施設、実施医、指導医の基準策定が関連学会との合意を受け、上期に企画・立案・システム構築、下期にレジストリー登録を行う。

4. 心原性ショックに関するレジストリー

心原性ショックに関するレジストリーで登録されたデータの検証を行い、心原性ショックの転帰を改善させる対応を探究し、解析結果の論文化を行う。

5. ウツタインレジストリー

消防庁救急蘇生統計(ウツタイン調査)データの検証を行い、蘇生科学と救急心血管治療に対する研究を世界に向け、論文・発表を展開して行く。

(5) 交流事業

1. 国内交流

- ①第82回本会学術集会において双方の学会・団体とジョイントセッションを行う。
- ②日本医学会分科会として、日本医学会主催の評議員会等の会議に出席する。
- ③ICD-CRT研修制度協議会の運営を行う。
- ④日本糖尿病学会と連携活動を予防委員会内にワーキンググループにおいて行う。
- ⑤外科系3学会(心臓血管外科・胸部外科・血管外科)との相互乗り入れについての活動を行う。
- ⑥ステントグラフト実施基準管理委員会へ、実施基準に関する協議会(11学会)の1学会として参加する。
- ⑦循環器系のコメディカル関係学会とのジョイントセッションを双方の学術大会で開催する。
- ⑧医療放射線防護連絡協議会に理事を派遣する。
- ⑨関連7学会と組織する「成人先天性心疾患の横断的検討委員会」の運営、取りまとめを行う。

関連7学会：日本胸部外科学会、日本産科婦人科学会、日本小児循

環器学会、日本心エコー図学会、日本成人先天性心疾患学会、日本心臓血管外科学会、日本心臓病学会

2. 国際交流

- ①海外学会(AHA, ESC, OCC)へブース出展を行う。
- ②各海外団体(ACC, AHA, CSC, ESC, KSC, アジア)とのジョイントシンポジウムを開催する。
- ③国際留学生YIAの公募を行い、第82回学術集会で審査講演を行う。
- ④海外留学生セミナーの演者を公募し、第82回学術集会上にセミナーを開催する。
- ⑤国際名誉会員の選出を行う。
- ⑥アジアの各学会へ学会活動の広報の強化およびAPSC, WHFと活動を行う。
- ⑦各海外団体とLeadership Meetingを開催し、情報交換を行う。

(6) 循環器学用語の検討

- ①循環器学用語集の一部改訂
ホームページで循環器学用語集に対する意見を求め、既存の用語集の改善について検討する。
- ②国際疾病分類(ICD)の改訂
WHO, 厚生労働省から依頼を受け、ICD-10の部分改訂、ICD-11への大改訂に向けた作業を行うため委員を派遣する。

2. 循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

(1) 循環器専門医事業

1. 専門医制度事業

- ①第28回循環器専門医資格認定試験を実施する。
筆記試験日：2017年8月20日(日)
会場：パシフィコ横浜(横浜市)・梅田スカイビル(大阪市)
- ②循環器専門医資格の更新審査を行う(対象2,439名予定)。
- ③循環器専門医研修・研修関連施設の指定・更新審査を行う。
- ④『循環器専門医』の発刊ならびに今後の発刊についての検討を行う。

2. 新専門医制度に伴う事業

- ①新専門医制度に対応したシステムを構築し、会員向けサービスの向上を行う。
- ②基本領域と連動した循環器領域における制度の構築(整備基準の作成、研修カリキュ

ラムの作成、施設要件の検討)を行う。

(2) 循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. セミナー

①第13回循環器専門医を志す研修医のための卒業セミナー

主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー・グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催する。

②第3回臨床研究デザインと統計解析合宿

若手から中堅の医師を対象に、臨床疫学及び臨床統計学のスキルアップを目的とした講義やハンズオン、グループワークを組み合わせて実践的な知識が身に付く内容の研修合宿を開催する。

③JCS-ITC(日本循環器学会国際トレーニングセンター)AHA心肺蘇生法コース

次の各講習会を全国で開催する。

- ・AHA BLSプロバイダーコース
- ・AHA ACLSプロバイダーコース
- ・AHA ACLS EPプロバイダーコース
- ・AHAハートセイバーCPR AEDコース

また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催する。

- ・AHAコアインストラクターコース
- ・AHA BLSインストラクターコース
- ・AHA ACLSインストラクターコース
- ・AHAハートセイバーインストラクターコース
- ・AHA ACLS EP インストラクターコース

④PCASセミナー

「心拍再開後ケアの標準化とチーム医療」をテーマに、医師、看護師等コメディカルを対象としたチーム医療についてを学ぶセミナーを開催する。

⑤コメディカルセミナー

コメディカルを対象とした教育セミナーを開催する。2017年は、8月20日(日)大阪国際会議場、8月26日(土)パシフィコ横浜で開催する。

2. 教材

①教育研修用e-ラーニングシステムの構築

会員の知識・技能の向上を目的に、教育研修e-ラーニングのコンテンツの充実を行う。約180タイトルを公開しており、最終的には200タイトルを目指す。

②学術集会DVD、教育セッションDVDの製

作・販売

第81回学術集会で開催されたセッションを、より多くの医師が視聴研修することを目的に、セッションを収録したDVDの製作・販売を行う。

3. 男女共同参画に関する事業

①第11回・12回男女共同参画委員会セミナーの開催

各支部における男女共同参画活動をサポートし、男女共同参画に対する理解と協力を得るため、地方会場でセミナーを開催する。

②男女共同参画委員会ホームページを更新する。

委員会活動に関する情報を発信する。

③Travel Award for Women Cardiologists

本会の女性会員のキャリア支援を目的として、国際学会(ESC, AHA)において女性筆頭者が発表する優秀演題を顕著する。

4. 若手活性化事業

本会における若手医師等の活発な参加を促すための事業を検討し、実施する。

3. 循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

(1) 心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植に関する事業

①心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。

②心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討及び、植込型VAD事後検証を行う。

③自施設内適応判定により移植された症例の事後検証を行う。

④心臓移植実施施設間の問題点、今後のあり方について協議を行う。

⑤日本の心臓移植の状況を世界に発信していくためCirculation Journalにアニュアルレポートを投稿する。

⑥心臓移植申請症例データベースの構築に向けて検討を行う。

⑦心臓移植並びに心肺同時移植に係る審議(実施施設の認定審査を含む)を行う「心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会」の事務局運営を行う。

(2) 広報・啓発事業

1. プレス向け

①プレスカンファレンスの開催

学術集会会期前にその企画内容やトピック

スをプレス向けに発信するプレスカンファレンスを開催する。

- ②プレスセミナーの開催
循環器疾患に関する最新治療や正しい知識をプレスを通じて社会に発信するプレスセミナーを開催する。

2. 市民向け

- ①第82回学術集市民公開講座(会長企画)
- ②心臓移植市民公開講座
臓器移植法施行20周年の節目の年に、一般市民に心臓移植医療について理解を深めてもらう。
- ③心肺蘇生法市民公開講座
学術集会、地方会で一般市民を対象としてAEDを使用した心肺蘇生法の講習会を開催する。
- ④AEDの普及啓発活動
日本学校保健会、日本スポーツ振興センターとの連携事業の実施、e-learning啓発を行う。
- ⑤心筋梗塞についての啓発活動
ホームページを利用した活動を継続して行う。市民向けの情報に加え、啓発活動を行っているモデル地区の発症状況を掲載することにより、学術的な観点から情報を掲載していく。
- ⑥ファミリー&フレンズコース
主に非医療従事者を対象として、心肺停止に対する初期対応の講習を行う。
- ⑦予防フォーラムの開催
循環器病予防に向けた市民フォーラムを開催する。
- ⑧予防動画の作成
循環器病予防に関する動画を作成し、SNS等を活用して周知を促す。
- ⑨禁煙啓発キャラクターを使用した禁煙啓発活動
各地の市民向けイベントに禁煙相談ブースを設置し、喫煙者への禁煙啓発を促す。また、本会の禁煙推進キャラクター「すわん君」のtwitterを通じて本会の禁煙啓発活動を広く周知する。
- ⑩禁煙教材の作成
禁煙パスポート、DVD、ポスターの制作、販売を行う。

3. 会員向け

- ①学会ホームページの運営・リニューアル
会員、一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載する。会員への情報サービス向上を行う為、ホームページのリニューアルを検討する。

- ②ニュースメールの配信
会員への情報サービスとして学会からの各種お知らせを「JCS News Letter」として配信する。

4. 官公庁等への働きかけ

- ①「脳卒中・循環器病対策基本法」成立に向けた活動
国民の健康寿命の延伸と循環器病を取り巻く問題を解決するための法律を成立させるため、関連団体と活動する。
- ②診療報酬に関する調査
循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、関連学会と協力して主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、要望等を行う。
- ③循環器救急の実情に関するアンケート調査
平成26年度診療報酬改定に伴う救急医療管理加算開始に伴い、緊急カテーテル検査や院内死亡率への影響についての調査を行う。
- ④CCU加算に対する働きかけ
「CCUにおける重症度、医療・看護必要度」について要望を行う。

(3) 医療事故調査制度

2015年10月から開始された「医療事故調査制度」について、本会は病院での院内調査および医療事故調査・支援センターのセンター調査への専門家の派遣を行うこととなっており、依頼があった場合は専門家を派遣する。また、支部の派遣体制について問題がないか確認する。

(4) 鑑定人推薦依頼

最高裁判所からの鑑定人推薦依頼に専門家を派遣する。

4. 循環器領域に関係する他団体業務の委託

1. 「禁煙推進学術ネットワーク」事務局業務の受託

参画学会の中心メンバーとして他学会との連携強化、5ヶ年計画の禁煙予防分野としての推進を図る。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 循環器病克服5カ年計画事業

5年間で脳卒中・心血管病による死亡率の5%減少および健康寿命の延伸を目標に、脳卒中・心不全・血管病を重要3疾病と定

め、目標達成に向け「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民啓発の促進」「基礎研究の強化」の5戦略を実行するため、我が国と本会の今後5年間の事業について計画・実行する。

2. 大規模・中規模災害に対する対応

過去に発生した災害をモデルとして、災害発生時に本会や関係団体取るべき対応をシミュレーションし、検討する。

3. 新会員システムの構築

会員の学会活動の利便性の向上を目的に、学会事務局で使用する会員管理システムの新規構築を検討する。

4. 勤務医師賠償責任保険

本会の勤務医師賠償責任保険を運用する、会員は割引価格で保険に加入でき、本会には医師賠償責任保険料の5%、総合補償保険の3%が収益となる。

5. FJCS事業

会員の学会活動への活発な参画を図り本会を活性化させるため、フェロー会員の認定を行う。

※本社員総会での承認をもって正式に制度運用を開始する。

6. 会員への周知

会員に向け周知すべき事項を案内するため、会告の2017 No.2～2018 No.1を発刊する。